

〈資料3〉

竜口寺境内出入之事

竜口寺境内境江引登社地境と心得、論所ハ門前百姓吉十郎屋敷裏角藤沢通路之細道
際片瀬村申立、右境より相手方にて字正力坊、訴訟方にて字下町浜と謂場所より午
未へ浪打際まで見通、西之方片瀬村地内たるべし、是迄建置石之定杭取払津村腰越
村にて、芝地江植置小松ハ津村腰越村へ伐採、去ル子年流寄船板ハ片瀬村江取揚、
以来竜口寺并門前百姓次に竜口明神社地とも片瀬村分と心得、門前百姓宗門帳諸触
とも片瀬村にて致進退、津村腰越村ハ冲獵いたし、片瀬村ハ地引網いたし、相互に
入会段ハ無相違間、仕来之通可心得条裁断畢、例絵図面引墨筋各加印判双方并竜口
寺輪番へ下授間、永不可違失者也

安永二巳年五月十三日

御用方無加印

川 越前

松 対馬^印

安 弾正^印

御用方無加印

石 備後

曲 甲斐^印

牧 大隅^印

土 美濃^印

松 伊賀^印

牧 越中^印

土 能登^印

(藤沢市史2資料編 岩本亮一郎氏所蔵文書)